

事業評価シート

担当課・室長：水環境管理課長

事業名	水辺環境・水循環に係る施策の推進
上位施策名	水環境の保全
1 事業の概要	<p>豊かな水辺環境が失われた原因のひとつとして、人の生活と水環境が切り離されたことにより、水を大切に利用するという意識が弱まったことが考えられる。そこで水辺環境に住民が関心を持ち、水と人との関係を再考するための基盤づくりを支援し、水環境の再生、保全を図る施策が必要であるとの認識のもと、行政側として地域住民の自発的・積極的な水辺保全活動を喚起・支援する調査・事業を展開している。</p> <p>また、急激な都市化の拡大等に伴い、自然の水循環系が損なわれ、水質汚濁や湧水の枯渇などの障害が発生している。健全な水循環の確保のため、環境省として必要な知見を収集するとともに、水環境上の問題が深刻な湖沼(手賀沼)において、水循環回復計画づくりを行っている。</p>
2 進捗状況	<p>水辺保全活動の支援のため、普及啓発用パンフレット、水辺活動実践マニュアル等の作成・配布を行っているほか、水辺環境の再生を目的とした施設の整備に対して補助を実施する(平成12年度末現在、身近な水辺環境再生事業94事業実施等)ことで、身近にある水辺環境への地域住民の活動を支援する体制を整備している。</p> <p>また、湖沼流域の水循環を定量的に評価できる水収支解析モデルを開発しているところであり、手賀沼の水循環回復計画については、有識者のほか流域関係自治体及び関係省庁を構成員とした調査検討委員会を設置し、水循環回復モデル計画を作成しているところ。</p>
3 評価	<p>良好な水辺空間整備を通じて地域の環境保全意識の向上を図ることは、公的役割であり、国はこのような事業を実施する市町村に対して支援を行い、水環境改善・水循環の健全性の回復に向けた取組を普及促進させていく必要がある。</p> <p>都道府県等が実施する豊かな水辺環境の再生・創出事業への支援を行い、地域住民の水辺保全活動を喚起するとともに、自治体を巻き込んだ一層の活動の活発化を図ったことで、地域の顔となる水辺空間の創出に大きく貢献できた(平成11年度までに94事業)。</p> <p>現在検討している水循環モデルは、表流水と地下水を一体的に水収支に組み入れたものとして、その斬新さ、及びモデルとして普及型を目指していることが評価される。併せて、手賀沼をモデルケースとして検討して行く過程そのものや、その中で形成される地下水位や流域水収支の把握手法等の知見・ノウハウは、水循環の定量的な把握に必要不可欠であり、水循環回復計画の普及に貢献するものである。</p>
4 予算事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺環境保全活動推進費 ・特定流域水環境保全対策調査費 ・水域水循環計画策定等調査 ・水循環回復連携事業 ・水環境分野国際対応推進費 ・第3回世界水フォーラム閣僚級国際会議開催経費 ・良好な水辺空間創出事業費補助
5 対応副施策等	